

ENGLISH NOW English Communication I

評価規準(例)

Lesson 1 “Hello, Everyone.”

(配当時数：4 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) 英語の自己紹介を聞く。イントネーションの違いや発音などを意識して音声を聞き、自分でも音読する。	自己紹介のしかたを聞いたあと、イントネーションの違いや発音などを意識して、音読している。		○			自己紹介のしかたを聞いたあと、イントネーションや発音などを意識して音読しているか観察する。それらを意識して音読していれば○と評価する。
(B) 友だちとペアで自己紹介をし合う。なお、必要に応じて、ALT や JTE の自己紹介を聞かせてもよい。	積極的に英語でペアワークをし、自己紹介ができる。	○				自己紹介のペアワークをさせる。ペアを見つけて積極的に自己紹介していれば○と評価する。
(A) be 動詞と一般動詞の肯定文を理解する。	be 動詞と一般動詞の肯定文を理解し、それらを用いた英語がわかる。				○	be 動詞と一般動詞を用いた肯定文を理解し、p.14 の DRILL で正解を得られていれば○と評価する。
(B) p.15 の CONVERSATION の下線部を入れかえて、簡単な自己紹介をする。	下線部を入れかえて、英語で簡単な自己紹介ができる。		○			正しく対話ができているか○と評価する。
(B) もう少し詳しい自己紹介(好きな科目や将来の夢)をペアまたはグループごとに対話練習をする。	もう少し詳しい自己紹介(好きな科目や将来の夢)をペアまたはグループごとに対話することができる。		○			英語でペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。正しく対話ができれば○と評価する。
(A) 基本的な助動詞(can, must, will)を用いた肯定文と否定文を理解する。	基本的な助動詞を用いた肯定文と否定文を理解し、それらを用いた英語がわかる。				○	p.16 の DRILL で助動詞を用いた英文の語句を並べかえさせる。正確に並べかえることができれば○と評価する。
(B) p.17 の CONVERSATION で「A が a.~d.の指示カードから 1つ選んで読み上げ、B がどの標識かをあてる」会話をする。	「A が a.~d.の指示カードから 1つ選んで読み上げ、B がどの標識かをあてる」会話ができる。		○			「A が a.~d.のカードから 1つ選んで読み上げ、B がどの標識かをあてる」会話をすることができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) p.18 の Warm-Up の音声聞き、その内容について理解する。	スクリプトの音声を聞いて、その内容を理解し、正しい選択肢を選ぶことができる。			○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、正解を選べれば○と評価する。
(A) p.19 の本文を読み、日本語と英語の顔文字の違いについて理解する。また、具体的に顔文字をノートに模写する。	日本語と英語の顔文字の違いについて理解し、正しい知識を習得することができる。				○	本文の英語を読むことで、日本語と英語の顔文字の違いを理解していれば○と評価する。
(B) p.20 と p.21 の本文を読み、内容を理解して音読する。また、短いメールを作成し、発表する。	本文の内容を理解し、音読できる。また、短いメールを英語で書き、発表することができる。		○			短いメールを英語で作成し、発表することができれば○と評価する。
(A) be 動詞や助動詞を使った肯定文と疑問文を理解する。	be 動詞や助動詞を使った肯定文と疑問文を理解し、それらを用いた英語がわかる。				○	be 動詞や助動詞を使った文を理解し、p.23 の DRILL で肯定文を疑問文に直すことがほぼ正確にできれば○と評価する。
(A) 一般動詞を使った肯定文と疑問文を理解する。	一般動詞を使った肯定文と疑問文を理解し、それらを用いた英語がわかる。				○	p.23 の DRILL で一般動詞を使った肯定文を疑問文に直すことがほぼ正確にできれば○と評価する。
(B) 「好きなもの」について p.23 の対話にならい、ペアまたはグループごとに対話練習をする。	「好きなもの」について、ペアまたはグループごとに対話することができる。		○			「好きなもの」について、ペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできれば○と評価する。
(B) p.23 の ACTIVITY の自分や友だちの「食べ物の好き嫌い」についてインタビューをする。	「食べ物の好き嫌い」について関心を持ち、積極的にインタビューに取り組むことができる。	○				「食べ物の好き嫌い」に関するインタビューに関心を持って積極的に取り組めていれば○と記入する。
(A) 疑問詞を使った疑問文を理解する。	疑問詞を使った疑問文を理解し、それらを用いた英語がわかる				○	p.25 の DRILL で下線部をたずねる疑問文を作る問題をほぼ正確にできれば○と評価する。

<p>(B) 「好きな歌手」について p.25 の対話にならない、ペアまたはグループごとに対話練習をする。</p>	<p>「好きな歌手」について、ペアまたはグループごとに対話することができる。</p>		○		<p>「好きな歌手」についてペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできていれば○と評価する。</p>
<p>(B) p.25 の ACTIVITY の表に自分の持ち物の数を記入する。次に友だちにインタビューをし、聞き取りながらその結果をまとめる。</p>	<p>表に自分の持ち物の数を記入し、友だちにインタビューをしながらその結果をまとめることができる。</p>			○	<p>インタビューの結果を適切にまとめることができれば○と記入する。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 1 電話をかけよう

(配当時数：2時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) 電話をかける側, 受ける側の基本表現について理解する。	電話をかける側, 受ける側の基本表現について理解することができる。				○	美樹が教師(ALT/JTE)を誘う設定の pp.27-27 の対話文を理解させる。Q-A や必要に応じて和訳させるなどして, ほぼ理解していれば○と評価する。
(B) 電話の対話を聞いて, 内容を聞き取る。	電話の対話を聞き, 内容の要点を把握することができる。			○		対話文のポイント (Who's calling, please?, May I speak to ~?, What's up? など) を空欄にして聞き取らせ, 書かせる。適切に聞いて, 書くことができれば○と評価する。
	電話の対話を積極的に聞き, 英語で話すことができる。		○			適切に内容を聞き取り, 話すことができれば○と評価する。
(B) 電話の対話文の下線部を入れかえ, ペアまたはグループでロールプレイをする。	対話練習において英語で積極的に話している。	○				ペアで積極的に英語を話しているかどうか観察する。積極的に話していれば○と評価する。
(B) 学習した慣用表現やその運用について理解し, ペアまたはグループで対話練習をする。	学習した慣用表現やその運用について理解し, 英語で話すことができる。		○			慣用表現を使ってペアで対話ができているかどうか観察する。ほぼ正確に使っていれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Lesson 3 How Men and Women Talk

(配当時数：5 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) p.30 の Warm-Up の音声を聞き、その内容について理解する。	スクリプトの音声を聞いて、その内容を理解し、正しい選択肢を選ぶことができる。			○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、正解を選べれば○と評価する。
(A) p.31 の本文を読み、母親のモリスさんが息子と娘と話すとき、娘と話すときで、どのような違いがあるのか理解する。	母親のモリスさんが息子や娘と会話する際、どのような違いがあるのか理解することができる。			○		モリスさんが息子や娘と会話する際、どのような違いがあるのか理解しているのか確認する。適切に内容を理解していれば○と評価する。
(B) p.32 と p.33 の本文を読み、男女の会話の違いについて、その概要と要点をつかみながら読み取り、英語で話す。	男女の会話の違いについて、その概要と要点をつかみながら読み取り、英語で話すことができる。	○				男女の会話の違いについて、その概要と要点をつかんでいるのか確認する。適切に内容を理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 動名詞<動詞+ing>の基本的な用法を理解する。	動名詞<動詞+ing>の基本的な用法を理解することができる。				○	p.34 の DRILL で、動詞の目的語となる適切な語句を選び、正しく直させる。正しく選択し、直していれば○と評価する。
(A) 接続詞の使い方を理解する。	接続詞の使い方を理解することができる。				○	p.36 の DRILL で接続詞を使った文を選ばせ、答えさせる。正確に答えていけば○と評価する。
(B) 「将来になりたいもの」について p.37 の対話にならない、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をする。	「将来になりたいもの」について、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話することができる。		○			ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) p.38 の Warm-Up の音声を聞き、その内容について理解する。	スクリプトの音声を聞いて、その内容を理解し、正しい選択肢を選ぶことができる。			○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、正解を選べていれば○と評価する。
(A) p.39 の本文を読み、日本では「先輩・後輩」ということばを使うが、英語にも同じ表現があるかどうかを理解する。	日本では「先輩・後輩」ということばを使うが、英語にも同じ表現があるかどうかを理解し、読み取ることができる。			○		日本では「先輩・後輩」ということばを使うが、英語にも同じ表現があるかどうかを理解し、読み取れていれば○と評価する。
(B) p.40 と p.41 の本文を読み、文化が異なれば発想や表現方法が違うことを理解し、自分でも英語で話す。	文化が異なれば発想や表現方法が違うことを理解し、英語で話すことができる。		○			文化が異なれば発想や表現方法が違うことを理解し、英語で話してあれば○と評価する。
(A) SVOC の構文の意味と用法を理解する。	SVOC の構文の意味と用法を理解することができる。				○	p.43 の DRILL で、適切に語句の並べかえができていれば○と評価する。
(B) 「身の回りのもの」について p.43 の対話にならないう、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をする。	「身の回りのもの」について、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をすることができる。		○			ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできれば○と評価する。
(A) 形式主語の it の用法を理解する。	形式主語の it の用法を理解することができる。				○	p.44 の DRILL で<It is ~ to ->と<It is ~ for ... to ->の構文を使った英文の語句を並べかえさせる。正しく並べかえることができているならば○と評価する。
(B) p.45 の ACTIVITY で「好きなテレビ番組」について、1 位～3 位まで記入する。終わったらペアで対話練習をする。	好きなテレビ番組」について、ペアで対話練習をすることができる。		○			「好きなテレビ番組」について、ペアで対話が適切にできれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) p.48 の Warm-Up の音声を読み、その内容について理解する。	スクリプトの音声を聞いて、その内容を理解し、設問に正しく答えることができる。			○		写真を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、正解を選べれば○と評価する。
(A) p.49 の本文を読み、「カワイイ」と思うものは国や文化が違えば感じ方はさまざまであることを理解する。	「カワイイ」と思うものは国や文化が違えば感じ方はさまざまであることを読み取り、理解することができる。			○		「カワイイ」と思うものは国や文化が違えば感じ方はさまざまであることを理解していれば○と評価する。
(B) p.50 と p.51 の本文を読み、いくつかの特徴的な日本文化を取り上げ、その内容を理解し、英語で話す。	いくつかの特徴的な日本文化を取り上げ、その内容を理解し、英語で話すことができる。		○			いくつかの特徴的な日本文化を取り上げ、その内容を理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 現在完了の意味と用法を理解する。	現在完了の意味と用法を理解することができる。				○	p.52 の DRILL で現在完了形を用いた構文について、適切な語句を選ばせる。適切に理解して、解答できていれば○と評価する。
(B) 「日本に来たばかりの外国人」との対話について p.53 の対話にならない、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をする。	「日本に来たばかりの外国人」との対話について、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をすることができる。		○			ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできていれば○と評価する。
(B) 「友だちが経験したことがあるかどうか」についてインタビューし、Yes. と答えた生徒の名前を書いていく。	「友だちが経験したことがあるかどうか」について、積極的にインタビューし、生徒の名前を書くことができる。	○				「友だちが経験したことがあるかどうか」について、積極的にインタビューし、生徒の名前を書くことができる。積極的にインタビューできていれば○と評価する。
(A) 現在完了進行形の意味と用法を理解する。	現在完了進行形の意味と用法を理解することができる。				○	p.54 の DRILL で、現在完了進行形を用いた構文について、適切な語句を選ばせる。適切に理解して、解答できていれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Lesson 6 A Friendly Hug

(配当時数：6時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) p.56 の Warm-Up の音声を聞き、その内容について理解する。	スクリプトの音声を聞いて、その内容を理解し、正しい選択肢を選ぶことができる。			○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、正解を選べれば○と評価する。
(A) p.57 の本文を読み、「Amy Smith 先生と誠に関する内容」を理解する。	「Amy Smith 先生と誠に関する内容」を読み取り、内容を理解することができる。			○		「Amy Smith 先生と誠に関する内容」を読み取り、内容を理解していれば○と評価する。
(B) p.58 と p.59 の本文を読み、その内容(アメリカでホームステイをすることになった誠が驚いたことなど)を理解し、英語で説明する。	アメリカでホームステイをすることになった誠が驚いたことなどを理解し、英語で話すことができる。		○			アメリカでホームステイをすることになった誠が驚いたことなどを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 不定詞(名詞的・副詞的・形容詞的)の意味と用法を理解する。	不定詞(名詞的・副詞的・形容詞的)の意味と用法を理解することができる。				○	不定詞を用いた英文の語句を並べかえさせる。適切に理解して、p.60 の DRILL ができていれば○と評価する。
(B) 「スーパーでの買い物」の話について p.61 の対話にならない、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をする。	「スーパーでの買い物」の話について、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話することができる。		○			ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできていれば○と評価する。
(B) グループに分かれてカルタ取りをする。文の前半を一人が読み上げ、残りの人は文の後半部分が書かれている正しいカードを取る。	前半部分を正確に聞き取り、1枚でも多くカルタを取るように意欲的に取り組むことができる。	○				前半部分を正確に聞き取り、1枚でも多くカルタを取るように意欲的に参加することができる。できていれば○と評価する。
(A) 過去完了形の意味と用法を理解する。	過去完了形の意味と用法を理解することができる。				○	過去完了形を用いた英文の左右を結ばせる。適切に結べていれば○と評価する。
(B) 「ある party の翌日の対話」について p.63 の対話にならない、ALT/JTE やペアに対話練習をする。	「ある party の翌日の対話」についてペアで対話することができる。		○			「ある party の翌日の対話」についてペアで対話が適切にできていれば○と評価する。

<p>(A) 「アンドレアが昨日新しいくつを買いました。」 くつを買う前にどんなことをしたのか、ペアになって交替で英語を言いながら、それに合う絵を選ぶ。</p>	<p>「アンドレアが昨日新しいくつを買いました。」くつを買う前にどんなことをしたのか、ペアになって交替で英語を言いながら、それに合う絵を選ぶことができる。</p>				○	<p>ペアで対話が適切にでき、それに合う絵を選ぶことができているならば○と評価する。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	---	------------------------------------------------

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 2 買い物しよう

(配当時数：2 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) 店で買い物をするときによく使う慣用表現と店員の言うことを理解する。	店で買い物をするときによく使う慣用表現と店員の言うことを理解できる。				○	買い物をするときによく使う慣用表現(May I help you? / Can you show me ~? / Let me know ~. など)や店員の言うことを理解できれば○と評価する。
(A) 買い物をするとき店員の言うことを適切に聞き取る。	買い物をするとき店員の言うことを聞き取ることができる。				○	適切に内容を聞き取ることができれば○と評価する。
	買い物をするとき店員の言うことを聞き、自分の思いを英語で伝えることができる。		○			対話文の下線部のポイント (Can I try on this <u>sweater</u> ? That will be <u>40 dollars</u> . など)を空欄にして聞き取らせ、書かせる。それらを用いて適切に話すことができているならば○と評価する。
(B) 対話を聞いて、下線部を入れかえ、ペアまたはグループでロールプレイをする。	対話練習において英語で積極的にロールプレイに取り組むことができる。	○				ペアで積極的に英語を話しているかどうか観察する。積極的に話していれば○と評価する。
(B) 学習した慣用表現や運用について理解し、ペアで対話練習をする。	学習した慣用表現や運用について理解し、英語で話すことができる。		○			学習した慣用表現を使ってペアで話しているかどうか観察する。ほぼ正確に使っていれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Reading 1 American or Not American?

(配当時数：6時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.68 と p.69 の本文を読み, host sister の春子とアンディーの関係を読み取る。読んだあとで, 「アンディーは夕食のとき, どのような意図をもって春子に話しかけたのか。」 また, 「春子が怒って答えたのはなぜか。」を話し合う。	本文の題材に関心を持って積極的に読み取り, 理解しようとしている。	○				本文に関心を持って, 積極的に理解しようとしているかを観察する。積極的に取り組めていれば○と評価する。
	「アンディーは夕食のとき, どのような意図をもって春子に話しかけたのか。」 また, 「春子が怒って答えたのはなぜか。」を読み取り, 話し合っている。				○	問題点の内容を述べている文を本文中から選び出させる。正しく選び出せれば○と評価する。
(B) p.70 と p.71 の本文を読み, 春子がミアに話した内容を聞く。聞いたあとで 「春子 がアンディーに対して取った冷たい態度」と 「ミアが春子の発言を聞いて驚いた理由」について話し合う。	話の展開を積極的に予測しようとしている。	○				ペアで話し合い, 予測した結果を書かせ, 話し合わせる。積極的に予測した結果を話していれば○と評価する。
	「春子がミアに話した内容」・「春子 がアンディーに対して取った冷たい態度」・「ミアが春子の発言を聞いて驚いた理由」などを読み取り, 話し合っている。				○	「春子がミアに話した内容」・「春子 がアンディーに対して取った冷たい態度」・「ミアが春子の発言を聞いて驚いた理由」などを読み取り, 話し合っている。内容を適切に理解していれば○と評価する。
(B) p.72 の 4 枚の絵を本文の内容に合うように正しく並べかえる。そして本文の要約文をペアで考えながら完成し, 発表する。	4 枚の絵を本文の内容に合うように正しく並べかえる。そして本文の要約文をペアで考えながら完成し, 発表する。		○			ペアで協力して要約文考えているかを観察する。正しく発表していれば○と評価する。
(B) p.72 の Activity の下線部のせりふの気持ちが伝わるようにペアで対話練習をする。	下線部のせりふの気持ちが伝わるようにペアで対話をしている。		○			下線部のせりふの気持ちが伝わるように対話していれば○と評価する

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) p.76 の Warm-Up の音声聞き、その内容について理解する。	スクリプトの音声を聞いて、その内容を理解し、正しい選択肢を選ぶことができる。			○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、正しく答えていれば○と評価する。
(A) p.77 の本文を読み、三重県のある高校が取り組んでいる「特別な課外活動」について理解する。	三重県のある高校が取り組んでいる「特別な課外活動」について読み取り、理解することができる。			○		必要に応じて Q-A や和訳によって理解をチェックしながら、三重県のある高校が取り組んでいる「特別な課外活動」について理解していれば○と評価する。
(B) p.78 と p.79 の本文を読み、「レストランの特徴・運営に携わる高校生の様子・やりがい」について理解し、英語で話す。	「レストランの特徴・運営に携わる高校生の様子・やりがい」の内容を理解し、英語で話すことができる。		○			「レストランの特徴・運営に携わる高校生の様子・やりがい」を理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 現在分詞(-ing)・過去分詞を用いて人や物をくわしく説明する構文の意味と用法を理解する。	現在分詞・過去分詞を用いて人や物をくわしく説明する構文の意味と用法を理解することができる。				○	現在分詞・過去分詞を用いた2つの文をつなげたり、書かせたりする。適切に理解して、正解していれば○と評価する。
(B) p.81 の CONVERSATION で「相手にクラスメートの説明」をしてだれのことかあてながら、ペアまたはグループごとにする。	「相手にクラスメートの説明」をしてだれのことかあてながら、ペアまたはグループごとに対話することができる。		○			ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできれば○と評価する。
(B) p.81 の ACTIVITY で互いにレポーターになったつもりで、「公園の様子を伝える」対話練習をペアまたはグループごとにする。	互いにレポーターになったつもりで、「公園の様子を伝える」対話練習を、ペアまたはグループごとに意欲を持って積極的にすることができる。	○				互いにレポーターになったつもりで、「公園の様子を伝える」対話が意欲的、積極的にできているかを観察する。意欲的に伝えていけば○と評価する。
(A) 関係代名詞(which, that, who)の意味と用法を理解するし、DRILL (p.82) の英文を日本語に訳す。	関係代名詞(which, that, who)の意味と用法を理解し、正しく日本語に訳すことができる。				○	適切に理解し、日本語に訳すことができていると評価する。

(B) p.83の「自分が住みたい家」・「職業あてゲーム」について、ペアで対話練習をする。	「自分が住みたい家」や「職業あてゲーム」について、ペアで対話練習をすることができる。		○		「自分が住みたい家」や「職業あてゲーム」について、ペアで対話が適切にできていれば○と評価する。	
(A) 関係副詞(when)の意味と用法を理解し、DRILL (p.84)の英文を日本語に訳す。	関係副詞(when)の意味と用法を理解し、正しく日本語に訳すことができる。				○	関係副詞(when)を用いた英文を日本語に訳させる。適切に訳せていれば○と評価する。
(B) p.85の「外国人の友だちが日本に遊びにきたとき、どこに連れて行きたいか」また、「場所あてクイズ」について、ペアで対話練習をする。	「外国人の友だちが日本に遊びにきたとき、どこに連れて行きたいか」また、「場所あてクイズ」について、ペアで対話練習をすることができる。		○			「外国人の友だちが日本に遊びにきたとき、どこに連れて行きたいか」また「場所あてクイズ」について、ペアで対話ができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Let's Communicate 3 道案内をしよう

(配当時数：2 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) p.86 の Warm-Up の音声を聞き, 道案内で使われる基本表現を理解する。	道案内で使われる基本表現を聞いて, 正しい選択肢を選ぶことができる。			○		道案内で使われる基本表現 (turn left / go straight / turn right ~. など) を理解し, 正解が選べていれば○と評価する。
(B) ペアまたはグループで p.87 の対話練習をする。	ペアまたはグループで p.87 の対話練習を積極的に英語でしている。	○				積極的に英語で対話をしているかどうかを観察する。適切に内容を理解し, 話すことができれば○と評価する。
	道案内に関する置きかえの対話練習をペアまたはグループで行い, 身につけた表現を使って英語で対話できる。		○			道案内に関する置きかえの対話練習をペアまたはグループで行い, 身につけた表現を使って, 英語で対話することができれば○と評価する。
(B) p.87 の「練習しよう」を参考にして, ペアまたはグループでロールプレイをする。	「練習しよう」を参考にして, 英語で意欲的, 積極的に道を教えたり, たずねたりしている。	○				ペアで意欲的, 積極的に英語を話しているかどうかを観察する。意欲的, 積極的にできていれば○と評価する。
(B) 学習した基本表現や慣用表現を理解し, ペアまたはグループで対話練習をする。	学習した基本表現や慣用表現を理解し, 英語で対話をしている。		○			ペアまたはグループで学習した基本表現や慣用表現を使って対話しているかどうかを観察する。ほぼ正確に使う対話していれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) p.88のWarm-Upの音声を聞き、その内容について理解する。	スクリプトの音声を聞いて、その内容を理解し、正しい選択肢を選ぶことができる。			○		写真を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、正解を選べれば○と評価する。
(B) p.89とp.90の本文を読み、「サッカーの本田選手はどのようにして外国の選手とコミュニケーションをとっていったのか」を理解し、英語で話す。	「サッカーの本田選手はどのようにして外国の選手とコミュニケーションをとっていったのか」を理解し、英語で話すことができる。		○			「サッカーの本田選手はどのようにして外国の選手とコミュニケーションをとっていったのか」を理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.90とp.91の本文を読み、「だれの行動がきっかけとなり、日本代表チームにどのような変化が起きたのか」を読み取り、その内容を理解し、英語で話す。	「だれの行動がきっかけとなり、日本代表チームにどのような変化が起きたのか」を読み取り、その内容を理解し、英語で話すことができる。		○			「だれの行動がきっかけとなり、日本代表チームにどのような変化が起きたのか」を読み取り、その内容を理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) SVO(形式目的語のit)Cの意味と用法を理解する。	SVOCの意味と用法を理解することができる。				○	SVOCの構文を用いた英文の語句を正しく並べかえさせる。適切に並べかえることができれば○と評価する。
(B) 「映画」についてp.93の対話にならい、ALT/JTEやペアまたはグループごとに対話練習をする。	「映画」についての対話にならい、ALT/JTEやペアまたはグループごとに対話をするができる。		○			ALT/JTEやペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできれば○と評価する。
(B) 「学校生活を楽しく過ごすために必要だと思うこと、必要ないと思うこと」をそれぞれ書き出し、ペアで対話練習をする。	「学校生活を楽しく過ごすために必要だと思うこと、必要ないと思うこと」をそれぞれ書き出し、ペアで対話することができる。		○			「学校生活を楽しく過ごすために必要だと思うこと、必要ないと思うこと」をそれぞれ書き出し、対話しているかを観察する。ペアで対話が適切にできれば○と評価する。
(A) 関係代名詞(what)の意味と用法を理解する。	関係代名詞(what)の意味と用法を理解することができる。				○	関係代名詞(what)の構文を使った英文の語句を正しく並べかえさせる。適切に並べかえることができれば○と評価する。

<p>(B) 「中学時代の思い出」について p.95 の対話にならない、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をする。</p>	<p>「中学時代の思い出」について、ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をすることができる。</p>		○		<p>ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできていれば○と評価する。</p>
<p>(B) ペアになって、「1 人があるスポーツに必要な道具を言い、もう 1 人はそのスポーツが何かをあてる。」スポーツあてゲームをする。</p>	<p>ペアになって、「1 人があるスポーツに必要な道具を言い、もう 1 人はそのスポーツが何かをあてる。」スポーツあてゲームを積極的に行うことができる。</p>	○			<p>「スポーツあてゲーム」について、積極的に取り組んでいるかを観察する。ペアで、積極的に取り組んでいれば、○と評価する。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) p.96のWarm-Upの音声を聞き、その内容について理解する。	スクリプトの音声を聞いて、その内容を理解し、正しい選択肢を選ぶことができる。			○		絵を見て、内容について確認する。適切に内容を理解し、正解を選べていれば○と評価する。
(B) p.97の本文を読み、 <i>Mottainai</i> ということばをどんなときに使うのか。ワンガリ・マータイさんを通して <i>Mottainai</i> ということばが世界に知られたことを理解し、英語で話す。	<i>Mottainai</i> ということばをどんなときに使うのか。ワンガリ・マータイさんを通して <i>Mottainai</i> ということばが世界に知られたことを理解し、英語で話すことができる。		○			<i>Mottainai</i> ということばをどんなときに使うのか。ワンガリ・マータイさんを通して <i>Mottainai</i> ということばが世界に知られたことを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(B) p.98とp.99の本文を読み、どのような場合に、 <i>Mottainai</i> ということばが使われるのかを理解し、英語で話す。	どのような場合に、 <i>Mottainai</i> ということばが使われるのかを理解し、英語で話すことができる。		○			どのような場合に <i>Mottainai</i> ということばが使われるのかを理解し、英語で話していれば○と評価する。
(A) 受け身(受動態)の意味と用法を理解する。	受け身(受動態)の意味と用法を理解することができる。				○	be動詞の形と過去分詞を用いた受け身(受動態)の英文の語句を正しく並べかえさせる。適切に並べかえることができているならば○と評価する。
(B) 「いろいろな国のことば」について p.101の対話にならない、ALT/JTEやペアまたはグループごとに対話練習をする。	「いろいろな国のことば」についての対話にならない、ALT/JTEやペアまたはグループごとに対話練習をすることができる。		○			ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできていれば○と評価する。
(B) ペアになって(1)~(4)の英文に国名を入れてあてるゲームをする。p.101の対話にならない、ALT/JTEやペアまたはグループごとに対話練習をする。	(1)~(4)の英文に国名を入れてあてるゲームをする。ALT/JTEやペアまたはグループごとに対話練習をすることができる。		○			ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできていれば○と評価する。
(A)SV(知覚動詞)OC(動詞の原形/動詞の-ing形)の意味と用法を理解する。	SV(知覚動詞)OC(動詞の原形/動詞の-ing形)の意味と用法を理解している。				○	SV(知覚動詞)OC(動詞の原形/動詞の-ing形)を用いた英文の語句を正しく並べかえさせる。適切に並べかえることができているならば○と評価する。

<p>(B) 「スティーブがどこにいるか」について p.103 の対話にならい, ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をする。</p>	<p>「スティーブがどこにいるか」について p.103 の対話にならい, ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話練習をすることができる。</p>		○		<p>ALT/JTE やペアまたはグループごとに対話ができているかを観察する。対話が適切にできていれば○と評価する。</p>
<p>(B) p.103 のペアになって, 「1 分間で覚えた絵を隠す」記憶ゲームに積極的に取り組む。</p>	<p>ペアになって, 「1 分間で覚えた絵を隠す」記憶ゲームに積極的に取り組み, 相手に英語で伝えることができる。</p>		○		<p>ペアになって, 「1 分間で覚えた絵を隠す」記憶ゲームに積極的に取り組み, 相手に英語で伝えることができかを観察する。ゲームが適切にできていれば○と評価する。</p>

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Reading 2 The Story of Wangari Maathai

(配当時数：7 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(B) p.104 と p.105 の本文を読み、ワンガリ・マータイさんがどのような気持ちで自分のふるさとをながめていたのか、また、ワンガリ・マータイさんが抱えている問題を読み取り、話し合う。	本文の題材を読み、情景を思い浮かべたり、ワンガリ・マータイさんの気持ちを積極的に理解しようとしている。	○				本文の内容について積極的に理解しようとしているかを観察する。積極的な態度が見られれば○と評価する。
	「ワンガリ・マータイさんが抱えている問題」を読み取り、英語で話し合っている。		○			問題点の内容を述べている文を本文中から選び出させる。正しく選び出し、英語で話し合っていれば○と評価する。
(B) p.106 と p.107 の本文を読み、ワンガリ・マータイさんがケニアでの緑化運動を始めるきっかけは何だったのか、また、緑化運動後のケニアを、ケニアの人々はどのように感じたのかなどを英語で話し合う。	ワンガリ・マータイさんがケニアでの緑化運動を始めるきっかけは何だったのか、また、緑化運動後のケニアを、ケニアの人々はどのように感じたのか、などを読み取り、英語で話し合っている。		○			ワンガリ・マータイさんがケニアでの緑化運動を始めるきっかけは何だったのか、また、緑化運動後のケニアを、ケニアの人々はどのように感じたのか、などを読み取り、英語で話し合っているかを観察する。内容を適切に理解し、話していれば○と評価する。
(B) センスグループの区切り方を説明し、本文に / や // を入れる。	英文を適切なセンスグループに区切ることができる。				○	センスグループを理解し、適切に区切ることができていれば○と評価する。
(B) センスグループを意識しながら、強弱をつけて本文を音読する。	センスグループを意識しながら、強弱をつけて本文を音読ができる。		○			ペアまたはグループでチェーンリーディングを発表させる。適切に音読ができれば○と評価する。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解